

○ 海外企業から国内の大学等を見た場合、魅力もあるが課題も多いため今後更なる改善が必要

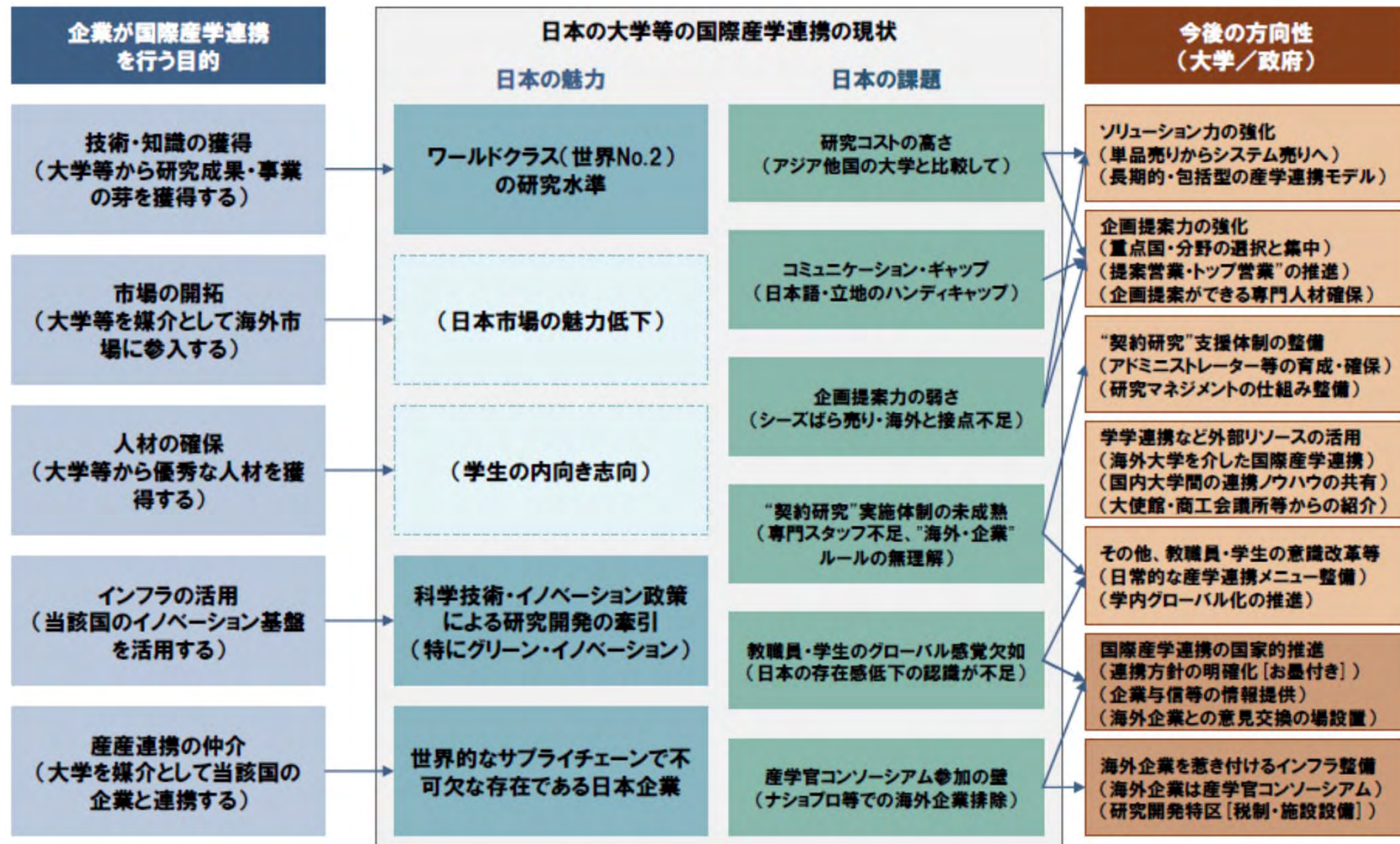


図 4-3 国際産学連携を推進するための今後の方向性

出典：経済産業省平成22年度産業技術調査事業「国内外における国際的な産学連携結ぶの実態等に関する調査」平成23年3月(株)三菱総合研究所

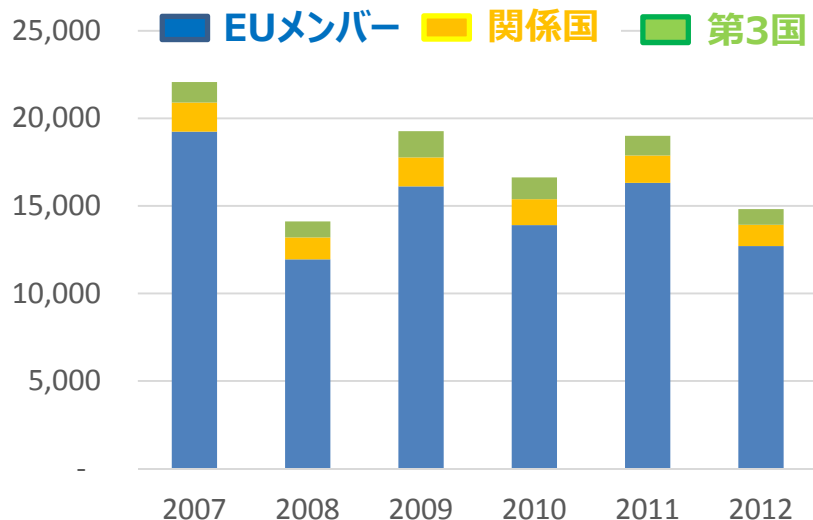
図 16

# EUの研究開発プログラム（FP7）における国際協力

1.(2) -3

## FP7プログラムへの地域別参加状況

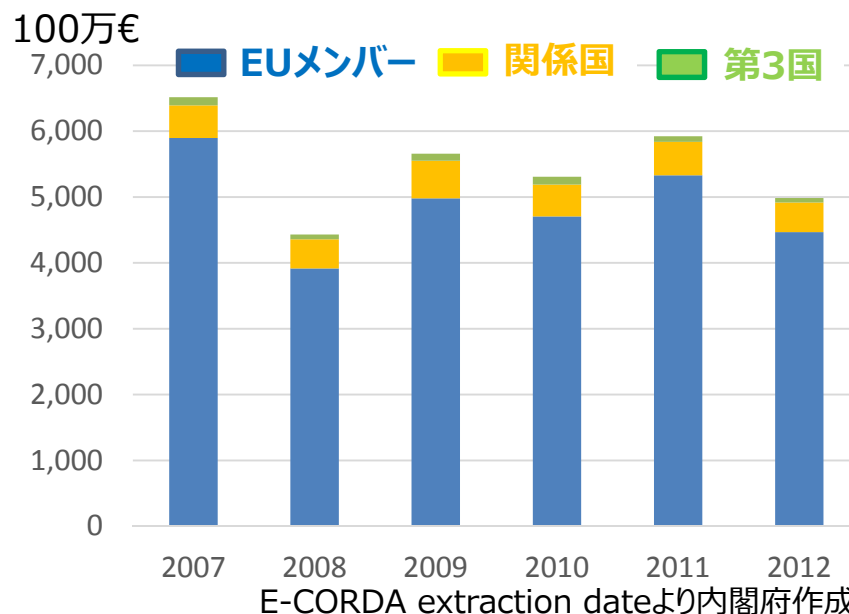
### 参加者ベース



関係国：クロアチア、アイスランド、モンテネグロ、セルビア  
トルコ、スイス、イスラエル、リヒテンシュタイン、  
モルドバ、ノルウェー、フェロー諸島、旧ユーゴスラビア

・第3国からの参加メンバーは全体の約7%  
（関係国を含めると15%程度）

### 補助金ベース



・第3国への資金提供は全資金のうちの約2%  
（関係国を含めると10%程度）

・2007～2012年の間にEUから第3国に5.7億€の補助



プログラムの魅力があれば、諸外国は提供される  
資金額以外の理由でも参加するのではないか。